

次世代に伝えたい紙芝居「茂木貞夫物語」



鑑賞者2300人突破祝賀会 & 紙芝居の読み手 養成講座



紙芝居「茂木貞夫物語」は、これまでに、2332人の方に見ていただくことができました。これまでイベントなどでの上演がほとんどでしたが、2018年からは、県立高校での広島修学旅行の事前学習会や、小学校の社会科・国語科の授業などに取り入れていただいています。この機会に、改めてこの戦争の紙芝居のもつ意味を考え、上演の輪をひろめていきます。

日時：2019年3月6日（水）

9:30～9:55	受付
10:00～12:00	祝賀会
12:00～13:00	昼食休憩（軽食をご用意します）
13:00～15:30	紙芝居の読み手 養成講座

場所：茨城県 JA 会館 2階第5会議室（水戸市梅香 1-1-4）

できる限り乗り合わせでお越しただか、公共交通機関をご利用ください。

参加費無料

参加をご希望の方は、
①お名前②お電話番号を、下記、茨城県生活協同組合連合会にお申し込みください。

祝賀会

10:00~12:00

紙芝居のこれまでの歩みを振り返りながら、どのように紙芝居が完成し、上演してきたのか、関係者の方々にお話をさせていただきます。お菓子と飲み物をご用意いたします。

- ・林 延哉 先生
茨城大学教育学部情報文化課程 准教授
元 紙芝居研究会顧問
- ・茂木 貞夫 さん
紙芝居の主人公
茨城県原爆被爆者協議会副会長兼事務局長
- ・古山均 茨城県生活協同組合連合会 専務理事

紙芝居「茂木貞夫物語」上演

朗読 見澤淑恵

朗読家。2018年より戦争の紙芝居3部作の上演を継承し、生徒とともに上演する一方、様々な場所での上演の機会を企画している。音楽と朗読のコンサートや朗読会に出演するほか、朗読・読み聞かせ講座の講師、司会・ナレーション多数。第13・14期茨城県生涯学習審議委員及び社会教育委員。

紙芝居の読み手養成講座 13:00~15:30

今後、紙芝居の上演する機会と場所を増やしていくためには、読み手として活躍して下さる人が必要です。この講座はそのための養成講座です。朗読の基礎的なことから、上演時間約30分の大作「茂木貞夫物語」を集中して聞いてもらえる読み方まで、ワークショップを取り入れながら学んでいただきます。まずは、紙芝居をご覧になり、聴いて、声に出して読んでください。読み聞かせや朗読の経験は問いません。「この紙芝居をひろめていきたい」と思う方のご参加をお待ちしております。

講師 見澤淑恵

協力 朗読勉強会「じゅげむ」

「じゅげむ」は2018年から茂木貞夫物語を上演。6人で紙芝居を読むスタイルで、臨場感のある朗読が好評を博す。



講師のブログ

〈お申し込み・お問い合わせ〉

茨城県生活協同組合連合会

TEL029-226-8487 E-mail: ibkenren@ibaraki-kenren.coop



主催 ピースアクション実行委員会、茨城県生活協同組合連合会